



## 伝染性紅斑について

### どんな病気？

頬に出現する蝶翼状の紅斑を特徴とし、小児を中心にしてみられる流行性発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ（ほっぺ）病」と呼ばれることもあります。幼少児（2～12歳）に多いですが、乳児、成人が罹患することもあります。潜伏期は4～15日です。



### どんな症状？

顔面、特に頬に、平手で打ったような紅斑が突然出現します。つづいて手足にレース様の紅斑が出現します。消えた後、さらに日光照射、外傷などによって再度出現することがあります。発疹の他に発熱、関節痛、咽頭痛、鼻症状、胃腸症状、粘膜疹、リンパ節腫脹、関節炎を合併することがあります。

### 治療について

特別な治療法はなく、ほとんどが自然に回復します。紅斑が出現する時期にはほとんど感染力がないので、二次感染予防策の必要はありません。妊婦が感染した場合には、赤ちゃんが胎児水腫という病気になることがまれにありますので、妊婦健診などをきちんと受けましょう。



定点種別	疾患名	状況	44週(10/28~11/3)		45週(11/4~11/10)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	—	26	1.00	32	1.28
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	24	0.92	31	1.24
小 児 科	RSウイルス感染症	/	4	0.24	7	0.44
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	8	0.47	2	0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	40	2.35	54	3.38
	感染性胃腸炎	—	42	2.47	62	3.88
	水痘(みずぼうそう)	—	1	0.06	0	0.00
	手足口病	○	168	9.88	171	10.69
	伝染性紅斑(りんご病)	—	4	0.24	1	0.06
	突発性発しん	/	8	0.47	10	0.63
	ヘルパンギーナ	—	2	0.12	2	0.13
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	13	2.60	20	4.00
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	15	3.00	18	3.60
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし